

# 宇都宮市立雀宮中学校 第3学年 生徒質問紙

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

●「朝食を毎日食べている」では、8.2%の生徒は「毎日ではない」と回答している。食育の観点からも生徒自身へ朝食の重要性を指導するとともに、学年だよりや保護者会を通じて、家庭への協力を呼びかけながら100%を目指したい。

○「自分には良いところがある」に対しての肯定的回答率は県より4.1ポイント、全国より6.8ポイント高く、自己肯定感が高いことを示している。今後も生徒の個性を尊重しながら、一人一人の良さを認め、自信を持てるような励ます指導を学校全体で行っていく。

○「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」に対する肯定的回答率は県を7.0ポイント、全国を10.5ポイント上回っている。約束は守るべきであるという規範意識の高さがある。生徒一人一人が正しい判断のもと、学校内外の生活を送れるようさらに指導を継続していきたい。

○「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対する肯定的回答率は県より5.5ポイント、全国より8.7ポイント高い。また、「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」や「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」についても、肯定的回答割合が8割を越えている。いごちの良い学級環境の中でそれぞれが学級の一員であるという自覚と、協調性が高いことの現れであり、今後も学校行事だけでなく日常生活においても、いろいろな考えや意見が発信できる学級に成長するようさらに支援していく。

○●「家で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」の肯定的回答率は70.2%であり、県・全国を上回った。しかし、「平日の家庭学習時間」の問いには、1時間以上2時間未満の回答が33.3%と最も多かった。3年生(受験生)として1・2年の既習内容の復習と、3年で学んでいる新たな学習内容の復習に取り組むためには、より多くの学習時間を確保する必要があると思われる。今後は必要な学習内容を自ら把握し、入試までの学習計画を改善させながら取り組んでいけるよう、高校説明会や三者懇談を通じて支援していきたい。

○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の肯定的回答率は県を4.5ポイント、全国を7.8ポイント上回っている。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありませんか」の肯定回答率は県を15.0ポイント、全国を21.1ポイント上回っている。地域内の公園や河川敷等の清掃活動などのボランティア活動や地域の避難訓練などへの参加の呼びかけなど、地域連携教育の積極的な推進が奏功していると思われる。今後も指導を継続し、地域や社会への貢献活動に前向きに取り組めるよう支援していく。

●「1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」では、月1回未満との回答が42.7%と高く、県・全国よりも約12ポイント高かった。今年度は生徒が一人1台クロームブックを持っているので、すべての教科で授業中に効果的に活用できる方策を考え積極的に生徒に使用させられるよう、教科部会や校内研修で検討していく。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」に対する肯定的回答率は県より7.6ポイント、全国より15.0ポイント高い。生徒は、日頃から自分の学級について関心をもち、自他の権利を尊重しながら民主的に生活している。今後は、更に学校全体に目を向け、3年生としてのリーダーシップを発揮していけるよう支援していきたい。

○「国語の勉強は好きですか」の肯定的回答率は県を13.2ポイント・全国を15.2ポイント上回っている。また、以後の質問で、国語は「社会に出てから役に立つ」ので「大切である」と回答している。今後は学力とともに更に正しい言葉遣いや文字力の向上にも努力していきたい。

●「数学の勉強は好きですか」の否定的回答率は46.2%と県・全国を上まわった。以後の質問で、数学は「社会に出てから役に立つ」ので「大切である」と回答しているが、「授業の内容が分からない」と回答している生徒は27.3%である。今後は分かる授業の展開と、分からない部分の解決のための個別支援を実践していきたい。

○「英語の勉強は好きですか」の肯定的回答率が71.9%となり県を18.2ポイント・全国を15.2ポイント上まわった。以後の質問でも1・2年生の授業で英語で「考えを伝え合う」活動や、「スピーチなどの発表」活動ができたと回答する生徒が82.4%おり、県・全国を大きく上回った。今後は、語彙や文法等の言語材料の定着とともに、書く活動や話す活動などの表現活動にも重点を置いた授業展開を実践していきたい。

## 宇都宮市立雀宮中学校 (第3学年) 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の振り返りを主とした、家庭学習ノートの推奨</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点をもち、基礎・基本の確実な定着を目指したわかる授業・できる授業の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の一部として、「家庭学習ノート」に1ページの自主学習を行い、提出することに取り組ませている。授業を振り返り、復習の具体的な内容や方法について自主決定して、目的をもって実践させている。</li> <li>・教科部会で誤答分析や書いたり話し合いを行う学習活動の場面について検討し、共通理解を図りながら実践して行く。また、授業研究会を開き、指導法について教師間で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含む)」という質問に対し、全国・県に比べ肯定的回答をする生徒の割合が高い。</li> <li>・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という質問に対し、全国・県に比べ肯定的回答をする生徒の割合が高い。</li> </ul>

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」という質問に対し、月1回以上と答える生徒の割合が、県に比べ12.2ポイント低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI型個別学習ドリルを活用し、学習内容の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめや前時の学習内容の復習を行うため、AI型個別学習ドリルを活用し、基礎・基本の定着を図る。</li> </ul>